

# 鮭 鱒 彙 報

第 四 卷 第 三 號

昭和七年七月二十五日

## 北海道鮭鱒孵化事業協會

(北海道廳水產課內)

### 目 次

#### 資 料

鮭卵の重歴に對する抵抗試験……………千歲孵化場 小林 教司(一)  
各種水生菌の見分け方(三)北海道水產専門部講師 武田志麻之輔(五)

#### 雜 報

保護河川湖沼の指定……………(一〇)

官營孵化場事業計畫打合せ……………(一〇)

鮭鱒種卵配付狀況……………(一一)

昭和六年度本道鮭鱒孵化事業成績……………(一二)

昭和六年度鮭人工孵化事業調……………(一三)

昭和六年度鮭人工孵化事業調……………(一四)

#### 會 報

鮭鱒孵化事業協議會……………(一七)

第四回總會要錄……………(一八)

昭和七年度一種會員會費決定……………(二〇)

會員異動……………(二四)

孵化事業報告書類提出に關するポスター配付……………(二四)

寄贈圖書……………(二四)

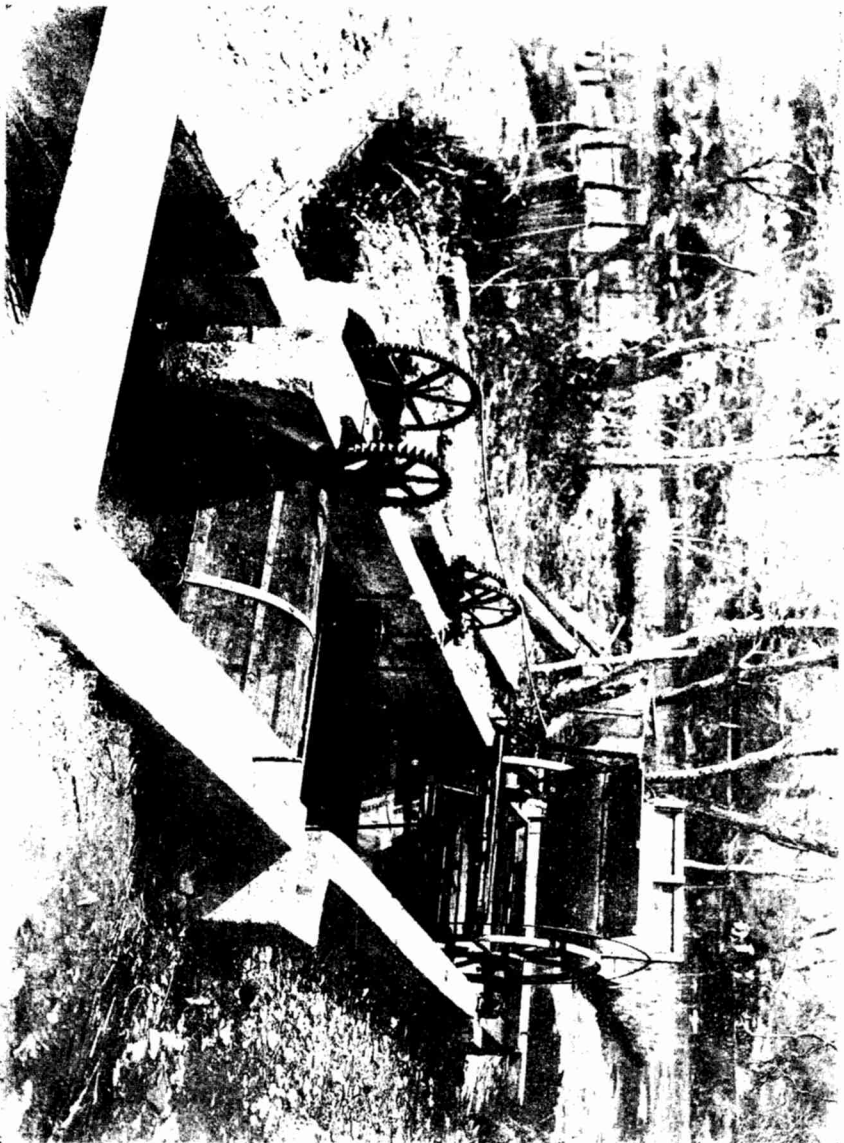
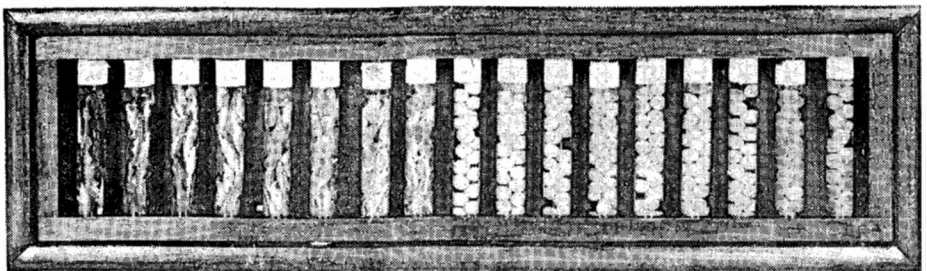
# 鮭發生標本實費配布

甲 一組 金 五圓      送料不要  
 乙 同      金 二圓      送料十二錢

教育、學術、産業上の好資料たる鮭發生標本を作  
 製し前記實費を以て配付す、体裁優美にして室内  
 裝飾品としても好適す至急申込あれ

北海道鮭鱒孵化事業協會

北海道廳水産課内



北海道水産試験場事業として干渉孵化場に於て試験し好果を収めたり  
 詳細同場旬報第一七三號にあり

置 裝 止 防 入 流 魚 稚

資 料

鮭卵の重壓に對する抵抗試験

千歳鮭鱒孵化場

小 林 教 司

鮭卵の衝擊に對する抵抗力に就ては、曩に本場に於て試験を完了せり。(第三回北海道水産試験場報告参照)然れ共同卵の重壓に對する抵抗力に就きては、未だ試験せるものなし。

北大水産専門部講師武田志麻輔氏は、鮭卵の耐壓力に關する研究結果を、鮭鱒彙報第二卷第五、六號に發表せり。これに依れば、一粒の健全なる鮭卵の有する耐壓力は、採卵後滿一日にして約三、〇疋なりと。然れども同氏の研究は單に卵膜が壓力に依り破壊せらるる限度を明にせるに止まり、壓力の程度に依る卵の生活現象に及ぼす影響に就きては研究せられず。

昭和五年本場に於ては鮭卵運搬器を考案し、爾來専ら本運搬器のみを以て卵の運搬をなすあり、其構造は鮭鱒

彙報第二卷第五、六號掲載の如く、方一尺木製箱にして、運搬に際しては直接箱中に卵を充し、木蓋を以て押へたる上、綱を以て緊縛するものなれば内容卵に對し相當大なる壓迫を加ふるものとす。依つて卵に對する壓迫が其後の孵化並に發育に如何影響するやを明かならしむる必要生じたるを以て本試験をなしたり。

試験方法

供試卵は本場附屬西越採卵場に於て採卵せる卵子を、受精後五十分乃至一時間後に於て前記運搬器に收容荷造し、馬車或は馬糞に依り本場迄運搬(運搬時間約二時間半)到着直後のものにして、壓力を加へたる方法は、極めて平滑に削りたる一尺五分角厚さ一寸木製板上下二枚の間に約二千粒の供試卵を一層に並べ、此の上より所要の重さを加へ

たり、加重時間は三時間にして此の間卵の凍結を防ぐため  
下板並に卵の部分に孵化用水中に浸し置きたり、而して加  
重終了と共に卵は孵化器に收容し普通卵同様の状態の下に  
孵化せしめ、仔魚は臍袋吸収まで孵化槽に於て飼育し、解

第一表

番 號	採卵又ハ加 重年月日	卵試 驗數	同上卵二 粒ニ對 スル平均 重量	加 重 時 間	解 化 年 月 日	臍 袋 吸 收 日 月 日	破 壞 卵 數	解 化 中 ノ 死 卵 數	畸 型 稚 魚 數	水 腫 症 稚 魚 數	備 考
1	昭和七年 一月十三日	一、九〇三	二、八〇〇	三時間	自三月十三日	五月八日			二四	二四尾	
2	同	一、七三八	五、三三六	同	同	同			二四	二三	
3	同	一、七五五	八、〇〇〇	同	同	同			二〇六	二六	
4	同	一、九三四	一〇、二〇〇	同	自三月十五日	十日同			九三	一九	
5	同	一、九三三	三、九〇〇	同	同	同			八六	二五	
6	同	一、八八七	四、八四〇	同	同	同			七四	四四	
7	十八日	一、九七〇	七、三〇〇	同	同	十八日			八七	二〇	
8	同	一、九二七	一、九四〇	同	同	同			六	二	
9	同	一、九六四	三、三三〇	同	同	同			二四	二四	
10	二十一日	二、〇一五	四、六〇〇	同	自二十一日	十六日			一〇八	九	
11	同	一、九一〇	二、八二〇	同	同	同			一四七	二	
12	同	一、九六六	二、九四〇	同	同	同			一六三	六	

尚右供試卵の對照として供試卵と同一日に採卵せるものの孵化並に飼育の経過を左に掲ぐ。

番 號	採卵月日	試 驗 卵 數	解 化 月 日	臍 袋 吸 收 日 月 日	解 化 中 ノ 死 卵 數	畸 型 稚 魚 數	水 腫 症 稚 魚 數	備 考
1	一月十三日	一、九五〇	三月十三日	五月八日	二〇	二〇尾		
2	十五日	一、九四九	十五日	十日	二〇	二〇		
3	十八日	一、八七〇	十八日	十三日	七	七		
4	二十一日	一、八四四	二十一日	十六日	二七	二七		

重壓に依る卵の破壊

今回の試験に於て卵の破壊したるは前表記載の如く、第  
七群に於て一粒第八群に於て六粒第九群に於て九粒第十群  
に於て九粒第十一群に於て一三粒第十二群に於て一七粒あ  
りたり 加重方法前記の如く完全を期し難かりしを以て、  
操作中壓力の不均なりし點幾分ありたるものと推察せら

第二表

群 番 號	死 卵 百 分 率	對 照 卵 ノ 同 上	兩 者 ノ 差
1	五、九	五、六	〇、三
2	六、五	五、六	〇、九
3	五、九	五、六	〇、三
4	四、八	二、九	一、九
5	四、四	二、九	一、五
6	三、七	二、九	〇、八
7	四、四	四、八	〇、四
8	四、三	四、八	〇、五
9	七、二	四、八	二、四
10	五、三	六、三	一、〇
11	五、〇	六、三	一、三
12	八、三	六、三	二、〇

るも、此の結果より大体に於て、卵膜弱きものは比較的  
小なる壓力に依り破壊せらるるものなるを認めたり。  
重壓に依る死卵の發生  
第一表記載の死卵發生數より死卵百分比を作製すれば次  
表の如くにして

重壓を加へたるものの百分率三、九乃至八、三然も百分率  
最高なる八、三八、一粒重壓最大なる一五、三四の場合に生  
じたるものにして、一見重壓が死卵に影響ありたるが如く

なるも、對照卵なる重壓を加へざるものの死卵百分率を、  
重壓を加へたるものの百分率より差引く時は其數字は甚小  
となり、第九群に於て二、四第十二群に於ける二、〇を最

化中の経過並に孵化後の状態等に就き觀察をなし、重壓の  
影響の有無を調査せり。  
試験の経過並に結果を示せば次表の如し。

大とし他は何れも二以下にして、第十群の如きは負一を示す、依て本試験の程度に於ける加重壓は死卵發生の原因とならざるもの如く思考せらる。

畸形兒の發生

畸形兒發生原因の有無を明かならしむる爲め左に畸形兒發生數の百分表を掲ぐ。

第三表

群番號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
畸形兒發生百分率	0.73	0.69	0.60	0.96	0.77	0.46	0.51	0.77	0.71	0.45	0.63	0.31
對照卵ノ同上	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
兩者ノ差	0.33	0.18	0.05	0.41	0.22	0.09	0.04	0.22	0.16	0.10	0.08	負0.24

右表に依るに畸形兒發生率の比較的多きは、加重壓の大ならざる第三群第四群第五群等にして、加重壓の大なる第十群以下の如きは此率反て小なり、試験卵の畸形兒發生率より對照卵の畸形兒發生率を差引きたる數字に就て見るも同様加重壓の大なるものに畸形兒發生率多きを認めず、死

卵同様重壓に依る影響なきもの如し、  
稚魚水腫病の發生

稚魚水腫病の發生は可成重壓に依る關係あるもの如し即ち其發生百分率を掲ぐるに左表の如くにして

第四表

群番號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水腫病發生百分率	0.31	0.17	0.23	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31
對照卵ノ同上	0.11	0.15	0.12	0.15	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
兩者ノ差	0.20	0.02	0.11	0.16	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20

對照卵に對し重壓を加へたるものは何れも水腫病の發生率大を示す。然れ共十群迄に於ける兩者の差は比較的著し

からず、依つて之を偶然の誤差とし無視するを得ざるに非ざるも、第十一群第十二群に於ける該病發生百分率はそれ

以外のものに比し甚だしく大にして、明かに重壓に依る影響なりと認めらる、従つて卵一粒に對し約十五匁内外の重壓を加ふる時は、水腫病發生を促すものと認む。

摘要

供試卵は試験開始時既に運搬の爲めに相當壓迫を加へられしものにして、此の卵に更に以上の如き重壓を加へし場

合に於けるものに就き影響を見たるものなり。

一、受精後三、四時を經過したる鮭卵にして、卵膜の強からざるものは一粒に對し約十匁内外の重壓力にて破壊するものあり。

二、同上の鮭卵に對し一粒當り十五匁内外の重壓は死卵原因とならず、又畸形兒發生の原因ともならず。

三、稚魚水腫病は卵時代に於ける重壓に依り影響せらるる事多く、一粒當り約十四匁以上の壓力は稚魚水腫病の發生原因をなす。

各種水生菌の見分け方 (三)

2. 軀幹は廣き棍棒状をなし分岐せず。繁殖細胞は短き枝の擴大部に生ず。……………六、ミンデニラ *Mindentilla*

「菌糸体とは菌糸の集合せる菌類の体全体をいふ。サプロミセスは他の分類のネーゲリラと同様のものなり」

五、永井氏の論文によるもの（永井政次氏 *Studies on the Japanese Saprolegniaceae* 北海道帝國大學農學部紀要、第三十二卷第一號、昭和六年、二頁）

サプロレグニア科

I、孢子囊は球形、棍棒状、圓柱状にして普通菌糸より幅、廣し、游走子は一列ならず。

1. 游走子は孢子囊先端の孔より個々別々に泳出す。

A、游走子は一回流泳す。孢子囊は球形、卵形、隨圓形又は棍棒状なり。新しき孢子囊は聚繖状分岐によつて形成され、空虚となるものゝ内に生ぜず。……………ピチオプシス。

B、游走子は二回流泳す。

a、孢子囊は圓柱状又は時々紡錘形。新しき孢子囊は空虚となるものゝ内に生ず、稀には前のものゝ下に側生す。……………サプロレグニア、

前述の檢索表にて水生菌を檢するにあたりて大体如何なるものであるかを圖によつて豫備智識を得て置くことが必要であると思ひますから前記の著書から圖版の如く數個の圖を轉載することに致しました。(此圖は大体を轉寫したものであります)。尙此外に前號の私の記事の圖版をも参照して下さることを御願ひ致します。

圖版の説明

圖版 第一

- A、サプロレグニア、トレチ (*Saprolegnia Thuretii*) 游走子の充滿せる游走子囊。
- B、同 游走子泳出後の游走子囊。
- C、同 藏卵器と藏精器。
- D、サプロレグニアの一種 (*Saprolegnia* Spp) 貫通生長。
- E、ピチオプシス、チモサ (*Pythopsis Cymosa*) 游走子囊。
- F、アクリアの一種 (*Achlya* Spec.) 游走子囊。
- G、ヂクチウクス、モノスボラ (*Dictyuchus Monospora*)
- H、同 游走子。
- I、トラウストテカ、クラヴァタ (*Thraustotheca Clavat*) 游走子囊。
- J、レプトレグニア、カウダタ (*Leptolegnia Caudata*) 分

b、孢子囊は棍棒状、紡錘形又は圓柱状。新しき孢子囊は聚繖状に側生す、稀には貫通生長をなす。……………イソアクリア、

2. 游走子は孢子囊の頂端にある孔より個々別々に泳出せず。

A、游走子は中空又は不規則の球形をなして孢子囊の口に集つて皮囊を生ず。……………アクリア

B、游走子は孢子囊壁の破壊によつて離散す。孢子囊は棍棒状。新しきものは長き節間を以て假軸状に分岐す。……………トラウストテカ、

C、游走子は孢子囊内にて皮囊を生じて後に孢子囊壁の各の孔を通りて出づ、孢子囊は圓柱状。新しきものは長き節間を有する聚繖状分岐によるか又は求底的に生ず。……………ヂクチウクス、

II、孢子囊は圓柱状にして普通は菌糸より太からず。游走子は普通孢子囊内に一列をなす。

1. 游走子は孢子囊の先端の孔を通して別々に泳出す……………レプトレグニア

2. 游走子は孢子囊の口に中空の球形をなして皮囊を生ず。……………アフアノミセス

「之は永井氏の見たる日本産水生菌科の檢索表なり」

岐せる孢子囊。

K、同 藏卵器と藏精器

L、アフアノミセス、ステラトウス (*Aphanomyces Stellatus*)

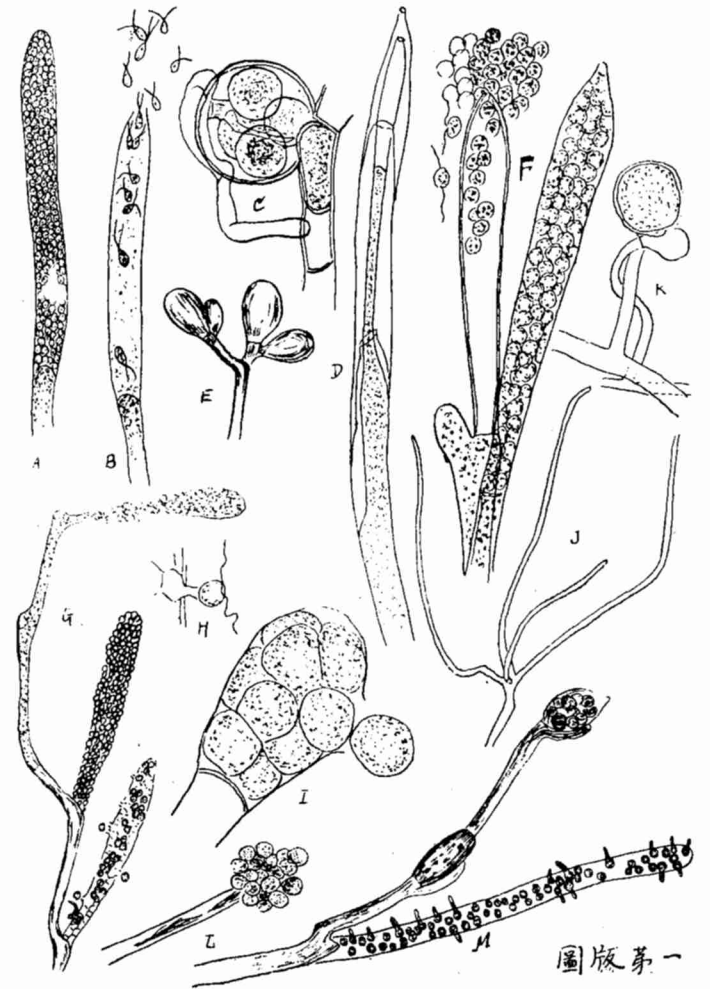
M、アブラネス、ブラウニイ (*Apianes Braunii*)

圖版 第二

- A、プロトアクリア、バラドクサ (*Protoachlya Paradoxa*)
- B、イソアクリア、トルロイデス (*Isachlya Toruloides*) 藏卵器。
- C、レプトミタス、ラクテウス (*Leptomitus lacteus*) 若幼游走子囊。
- D、同 成熟せる游走子囊。
- E、アボダクリア、ピリフエラ (*Apodachlya Pirifera*)
- F、ネーゲリラ、ラインシイ (*Naegeliella Reinschii*)
- G、リビチウム、インテルブルトゥム (*Rhizidium Interrumpum*) 全植物体。
- H、同 游走子囊と藏卵器を有するもの。
- I、アライオスボラ、ブルクラ (*Araispora Pulchra*) 藏卵器を有するもの。
- J、同 二種類の孢子囊。
- K、同 藏卵器 以上



圖版第二



圖版第一









- 二、報告の期日厳守内容の正確を期すへし
- 三、監督簿に關する件

(三) 指示事項

- 一、應急設備に關する件  
災害に依り孵化設備に對し應急處置を爲したる場合には直に詳細を報告すること。
- 一、資金積立に關する件  
本件は機會ある毎に指導し來たるも今後特に剩餘金を蓄積し經營の安定を期する必要あり。
- 一、技術員の改善活用に關する件  
孵化事業効果の確實を期するには技術の確實を必要とすること勿論なれば特に進歩向上に努むべく殊に親魚捕獲採卵には必ず技術員をして當らしめ能率の増進を期すへし。
- 一、捕獲場の整理に關する件  
多数の捕獲場の許可を受け然も實施せざる場所往々あり斯るものは整理の上廢合すへし。
- 一、水産奨励金下付願に關する件  
(イ)、願書は其の年度の四月三十日迄に必ず提出すへし。  
(ロ)、請求書添付の精算書は様式を厳守し正確を期すへし。

三、經 過

一、昭和五年度收支決算報告

田畑善作	池田利三郎
高清水慶吉	齋藤憲彰
山本勇作	近江幸一郎
村井義雄	毛利八百藏
齋藤篤篤	池田信太郎
竹林龜太郎	藤原初太郎
荒木勝二	高津彌三吉
小出谷政二	水澤一郎
鴨川豐	皆松力藏
吉田爲藏	淺野政勝
古澤鴻三	小田部景一
松崎榮次	田中民藏
八木澤繁次	阿久津香藏
野坂良吉	吉村謹爾
大道寺政治	山本勝見
川村六太郎	松本一郎
山村三郎	安藤武夫
菊地覺助	宮崎榮次郎
瀬谷求馬	

一、孵化事業用水使用に關する件  
既設孵化場用水は河川取締規則により許可を受ける必要あり未だ之が許可を受けざるものは至急手續をとること

一、親魚捕獲願書添付圖面の件  
親捕獲許可願書に添付すべき圖面に關しては取扱上の都合もあるを以て爾今陸地測量部發行五万分の一の地圖へ明確に記載せるものを添付せられたし。

會 報

第四回總會要録

本會第四回總會は六月二十五日北海道水産會樓上にて開催された。その状況左の如し。

一、出席者 (順序不同)

新井藤一郎	半田芳男
谷脇重助	野田信俊
前田敬治郎	内海重左衛門
大野磯吉	飛鳥貫治
齋藤光雄	小林教司
田中林藏	石井久治
高木爲吉	瀧澤與一郎
野口正樹	佐藤壽治

科 目	決 算	豫 算	摘 要
會費	八七、〇〇	一、六三、〇〇	前年度分四四圓
鮭發生標本代	二六、〇〇	一、〇〇、〇〇	十六組分
養鱒賣却代	—	三〇〇、〇〇	賣却セス
補助金	三〇〇、〇〇	—	地方費補助
雑收入	四七、六五	一〇〇、〇〇	築報代八五圓七〇 廣告料 五圓 利子一〇圓五二 /他三〇六圓四三
計	一、六一、四三	一、三三、〇〇	

收 入

科 目	決 算	豫 算	摘 要
諸務給	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	手當、寄稿謝禮
旅費	七、三三	二〇、〇〇	要セス
需費	—	一〇、〇〇	要セス
通信費	三、〇〇	〇、〇〇	十呂盤外十二點
事業費	五、〇三	五、〇〇	築報送料三〇圓四二 電信
印刷費	九二、三〇	九〇、〇〇	料二圓九〇 切手端書代一
印費	三、〇〇	三、〇〇	三圓八五 運賃三圓一五
會議費	三、〇〇	三、〇〇	築報代四六圓 其ノ他八圓五〇
鮭發生標本費	四、〇〇	六、〇〇	會費代二〇圓 其ノ他八圓五〇
養鱒試驗費	一	三〇〇、〇〇	十六組分
雜費	八、五二	二八、〇〇	要セス
費	—	—	自動車賃、振替料金及用紙
費	—	—	代會費送料

支 出

交際費	500.00
豫備費	175.00
計	675.00

差引なし  
右満場一致承認さる。

## 二、昭和六年度事業報告

### 一、機關誌ノ刊行

本誌は本邦孵化事業界唯一の學術雜誌にして創刊以來四年を闊し規模小なりと雖も内容充實するを以て定評あり今や廣く本邦各地に頒布せらる

本年度刊行總數二千部毎回四百部、内會員への配付數八百六十五部、會員外配付數千五百部なり會員外配付は道内外水産關係官衛、學校、團體、新聞雜誌社、個人なり

### 二、養鱒試驗

本年度に於て飼育せる鱒は前年度繰越のもの三千尾にして放養時の体長平均三寸なりしが之を飼育し九月末に平均五寸に成育したり此後の飼育は不利なりと認め研究用標本を除き四百六十七尾を試賣せり賣價は体長一寸につき一錢の割とし四六六尾二十三圓三十五錢なり即賣却せるものの体長平均五寸にして成長率約七割にして好成绩

を收めたり  
此間使用したる餌料は人工餌料僅か約五貫に過すこれ天然餌料の利用に留意せしによる  
九月以降は本年度採卵に係る稚魚一万尾を飼育中なり

### 三、技術員打合せ

本會は七月二十五日開催し前述の如く官民六十三名の出席あり打合協議事項は諮問事項一件、協議事項三件、指示事項一〇件、注意事項二件、希望事項十一件ありて之を決定せり

講師として臨席を仰きたるは水産局徳久技師、北大水産専門部武田講師の二氏にして事業上直接必要なる講演あり大に裨益せり

恰も開催中の拓殖博覽會を見學し平素山間の孵化場に勤務する技術者に對し啓發するところ大なりき

### 三、昭和七年度事業計畫及豫算

#### 事業計劃

#### 一、會報發行 (鮭鱒彙報)

自七月至翌年六月隔月發行計六回

#### 二、臨時出版

本會の目的達成に必要と認むるものを隨時刊行す

#### 三、鮭發生標本の配付

す

右は左記委員を以て調査會を組織し研究すること而して調査會は來る八月迄に第一回を開催することに決定せり。

支 應 員	網 走	網走外二郡鮭鱒養殖水産組合(野坂良吉)
同	留 萌	紋別鮭鱒養殖水産組合 (大西眞平)
同	宗 谷	天鹽鮭鱒養殖水産組合 (山村三郎)
同 (國後)	根 室	枝幸鮭鱒養殖水産組合 (村山喜作)
同 (探捉)	同 (國後)	根室鮭鱒養殖水産組合 (小池仁郎)
同	河 西	國後水産會 (八木澤繁次)
同	釧 路	擇捉島水産會
同	浦 河	十勝外四郡鮭鱒養殖水産組合(水澤一郎)
同	膽 振	釧路水産會 (吉田爲造)
同	渡 島	日高水産會 (齋藤 篤)
同	檜 山	膽振水産會 (齋藤主計)
同	後 志	遊樂部川鮭魚蕃殖組合 (齋藤憲彰)
同	外二官廳側	瀬棚郡漁業組合 (宮下和平)
計		尻別川鮭鱒人工孵化組合 (佐藤壽治)
		六名
		二十名

### 八、優良孵化場表彰

道廳検査の結果に依り優秀なる成績を示したる民營孵化

從來本標本を作成し希望者へ有償配付をなし來れるも近時申込者少く(無償分與申込者は次第に増加す)多數の材料を死藏する状態なり而して本事業の趣旨に鑑み稚魚保護觀念の徹底を期するため之を關係密接なる地方の小學校其の他へ無償配付を爲さむとす  
本年度配付豫定數 壹百二十組

### 四、養鱒試驗

從來に引續き實施す

### 五、孵化場打合せ開催

從來通總會を兼官民孵化場の打合せを開催す

### 六、親魚利用試驗

民營孵化場收入増加の方法として左記試驗を爲さむと

- A、寒鹽引製造試驗  
千歳西別兩孵化場へ依頼製造し且試賣を爲す
- B、魚皮利用試驗  
北大水産専門部へ依頼し製造す

材料——鮭、鱒、樺太鱒、紅鱒、アママス、イトウ等

### 七、孵化事業經營調査會

民營孵化場の經營方法の改善並本道鮭鱒孵化事業方針に關し衆知を集め具体的研究を爲し其の實行を期する必要ありと認め本會々員中より委員若干名を囑託し調査をな



三石漁業組合	三石	100	20
沙流漁業組合	沙流	100	20
靜内漁業組合		100	20
新冠漁業組合		100	20
膽振水産會	敷生	100	20
長流鮭鱒人工孵化組合	長流	100	20
洞爺湖漁業組合	洞爺	100	20
計		1,193	149

備考

- 一、會費は會則による會費の二割減
- 一、休業孵化場に對する割當は省く
- 一、會費本年十月迄に納付すること

### 會員異動

#### 入會

横田 徹夫 函館市赤川村水道公舎  
 青山 喜藏 千歳鮭鱒孵化場  
 可香谷 政夫 同上  
 佐野 誠三 同上  
 中西 義麿 紋別郡瀧ノ上村字瀧ノ上士別通四ノ七  
 岡村 忍 北海道廳水産課

## 鮭鱒孵化用器具ノ

### 御用命ハ是非!!弊店へ

- 一、鮭、鱒、鮎、鯉、孵化盆及同枠
- 一、同孵化槽、受卵器
- 一、アスファルト(流動)塗料
- 一、テレピン油、各種染料
- 一、龜 甲 紗(卵掬用)海綿
- 一、醫療藥品、工業藥品、高名賣藥
- 一、山本藥院製劑衛生材料
- 孵化用器具製作發賣元

父子堂 山本勝見藥舗工作部

札幌市北三條東六丁目(電停前)

電話 二五二七番  
 振替小樽三九七八番

#### 退會

木下 植 洞爺湖鮭鱒孵化場(退職)  
 渡邊 子之次郎 斜里孵化場(死亡)

### 渡邊子之次郎君

故渡邊子之次郎君は本道孵化事業に關係する、こと四十年以上に及ぶ功勞者であつたが今回斜里孵化場在勤中急死せられたるを以て本會より吊電を發し哀悼の意を表した。

### ○孵化事業報告書類提出

#### に關するポタスー配布

孵化事業に關する各種報告、申請書を其筋へ提出することとは兎角後れ勝ち官民共に之によつて各種の不便行違ひを來すので今度本會に於て「孵化場から道廳へ」「期限は正確に」との標語で提出期日を記し各孵化場、捕獲場經營者へ配布することにした。

#### 寄贈圖書

東京水産新聞、水政新聞、水産新報、釣人、水産月報、神奈川縣水産試験場昭和五年度業務報告及七年度業務要項、佐越の水産(新潟縣水産會)

昭和七年七月廿印刷  
 昭和七年七月廿五發行

札幌市北二條西七丁目一番地  
 編輯兼 發行人 半 田 芳 男  
 札幌市北一條西六丁目一番地  
 印刷人 大 谷 木 茂  
 札幌市北一條西六丁目一番地  
 印刷所 文 昭 堂 印 刷 所  
 電話 三二八五番  
 札幌市北三條西六丁目北海道廳水産課内  
 發行所 北海道鮭鱒孵化事業協會  
 電話 二六三〇(内線六七番)  
 振替口座小樽二一四八番

式一器化孵鱒鮭  
賣販造製

大  
林  
長  
兵  
衛

札幌市北四條西七丁目一番地  
電話 一四五一番